

## 平成26年(2014年)度事業報告書

平成26年8月1日から平成27年7月31日まで

特別非営利活動法人 東京ノーヴィ・レパトリーシアター

### 1. 事業の成果

私たちは、社会全体が“調和”をもって発展していく為の核となる役割が芸術の責務だと考えます。歴史的に、“対立”は避けられません。けれども「対立を乗り越え、社会の発展に“調和”を与えるための役割こそ、今の時代に一番必要な芸術家の仕事」だと認識しています。また“調和”の精神こそ、日本が世界に示すべき徳目ではないでしょうか。

さて、平成25年度の活動は大きな赤字決算で終わりましたが、平成26年度は多くの方々を支えられて、どうにか今年は、黒字のところまで辿り着くことが出来ました。とは言え残念ながら、私たちの活動はまだまだ事業的には安定していません。それを日本の芸術事業の中での「限界」と捉えるか、“既存の”芸術事業の範疇に納まらない新しい道を模索する「タイミング」と捉えるか。そこには大きな違いが生まれると思います。引き続き平成27年度も大変な年であるかと思われませんが、どうか多くの方々に今が大事な時期であることをご理解いただき、ご協力をお願いしたいと思います。

尚、当年度、私たちの「地域支援活動」が評価され、町田市教育委員会より「ボランティア学校支援活動に対する感謝状」を戴くと共に、長年の目標として掲げていた「認定NPO法人」の認定を東京都より戴きました。私たちの活動は少しずつではあっても着実な前進を遂げていることを、ここに併せて報告したいと思います。

### 2. 事業の実施に関する事項 (特定非営利活動に関わる事業)

#### <演劇の公演事業(定款5条-1)>

##### 1) チケット価格「千円」での「レパトリー公演」普及活動

両国シアターX 劇場との共同事業として、「チケット価格千円」でのレパトリー公演を今年度も継続しました。上演演目は、いずれもヨーロッパ文学を代表する古典作品で、ロシアの文豪ドストエフスキー原作「白痴」の舞台化作品『Idiot～白痴より～』、およびドイツの劇詩人ベルトルト・ブレヒト作『コーカサスの白墨の輪』の2作品です。

この「千円」公演活動は3年目を迎え、多くの人に「質の高い芸術こそ、それは本来、気軽に、当たり前に触れられるものである」という事を伝えると共に、ヨーロッパ型の「レパトリーシステム公演」についての認知度を高めてきましたが、残念なことに、様々な課題を残しながらも、当年度をもっていったん終了を迎える運びとなりました。

この活動は、両国シアターX 劇場協力のもとに実現した、今の社会の中では簡単には実現しないような、稀有な共同事業でしたが、改めて「どうすれば、日本に本格的なレパトリーシステム公演を実現、定着できるか」という問題に向かい合うことになりました。すでに幾つか、次年度の事業の中で具体的な方向性を見つけていますが、まだまだ模索の時期です。今後も多くの人々への呼びかけを続けていこうと思います(※この普及活動は、「墨田区の後援」を戴きました)。



『Idiot～白痴より～』

##### 2) 日本神話「古事記～天と地といのちの架け橋～」公演(天地創生～天岩戸までの神話を舞台化)



『古事記』梅若能楽堂公演より

私たちは様々な芸術分野の方々との共同作業を通し、1年以上に及び、この作品の準備を進めてきました。私たちは、この「古事記」という日本神話の舞台化を通して、多くの人々に、日本人の精神文化の豊かさ、深さ、素晴らしさを伝えたいと思います。この作品は、まさに現代の様々な混迷・不安を乗り越えていく助けになるからです。

初演から間もなく、既に、地方での幾つかの神社、能楽堂での公演が確定しています。今後は日本中での公開上演にとどまらず、日本の精神文化を海外に伝えていくための海外公演も視野に入れ、その準備を進めています。

### 3) 下北沢アトリエでの「レパトリー公演」普及活動

現在の方針として、下北沢アトリエでのレパトリー公演は縮小していく方向は変わりません。今後の公演活動は、より広範な地域での公演普及活動にシフトを移していかなければいけないからです。とは言え、だからこそ本拠地である下北沢アトリエでのレパトリー公演を、どう位置づけるか、よりオリジナリティを持たせるかが今後の課題と考えています。当年度は、今後の地方公演、および海外公演での演目を視野に入れ、近松門左衛門作『曾根崎心中』など、過去の名作を復活上演させました（2015年下北沢演劇祭 参加）。



『曾根崎心中』下北レバ公演より

### 4) 様々なジャンルのアーティストによる、夢枕獏作「陰陽師」のコラボ公演の実施

今回大変珍しい企画が実現しました。安養院（真言宗豊山派）ご住職の企画により、夢枕獏氏が書き下ろした「陰陽師」に、東京藝術大学副学長の松下功氏の作曲・指揮による演奏（オーケストラ「アンサンブル東風」演奏）。更に書家である柏木白光氏のパフォーマンスアートを交えたコラボ公演を実施しました。

（舞台総合演出：レオニード・アニシモフ／出演；東京ノーヴィ・レパトリーシアター）



安養院公演

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇の公演事業	<「古事記～天と地といのちの架け橋」公演> 現代の混迷を乗り越える作品として、日本の神話『古事記』を上げ、舞台化上演を実施した。	平成26年10月7日～13日（初演）	両国シアターX（東京都墨田区）	40人	一般704人	12,979（千円）
	<「古事記～天と地といのちの架け橋」公演> 日本の精神文化の豊さに改めて触れてもらうために日本の神話『古事記』を梅若能楽堂にて上演した。	平成27年3月15日（再演）	梅若能楽学院会館（東京都中野区）	40人	一般162人	
	<毎月レパトリー公演> ヨーロッパの古典大作2本を、毎月千円の価格で公開し、「レパトリーシステム公演」の普及活動を継続。	平成27年1月21日～6月4日	両国シアターX（東京都墨田区）	40人	一般733人	
	<下北沢レパトリー公演> 今後の地域普及公演を踏まえ、過去の名作2作を練り直し、復活上演。（2015年下北演劇祭参加）	平成27年2月18日～3月1日	東京ノーヴィ・レパトリーシアター（東京都世田谷区）	40人	一般250人	
	<安養院「陰陽師」公演> 安養院（真言宗）企画により、夢枕獏氏の「陰陽師」を、異なるジャンルのアーティストを交えてのコラボ公演の実現に協力、実施した。	平成27年7月4日（2回）	真言宗豊山派安養院 本堂（東京都板橋区）	15人	一般250人	

### <演劇芸術に関わる人材育成支援事業（定款5条-2）>

【注】原則として、ここでは「地元本拠地で、年間継続して行っている人材育成支援活動」を主に扱い、「地域性の強い活動（地方からの要請で開催される活動など）」は「地域文化支援事業」で扱っています（例：町田市での学校支援演劇ワークショップなど）。

#### 1) アカデミーの運営による芸術家育成活動（定款5条2項（ア）演劇芸術に関わる教育機関の運営）

優れた芸術理論とその実践的な方法論の公開、普及と人材育成活動は、文化が広く根付いていくための要となる仕事です。私たちはこれまでの10年におよぶ人材育成活動の実績をもとに、昨年度より、10ヶ月間におよぶカリキュラムで構成された「東京インターナショナル・スタニスラフスキー・アカデミー」を開校しました。当年度、その第2期生を募集・開校しました（主任講師兼校長：ロシア功労芸術家、レオニード・アニシモフ）。

#### 2) 演劇クラスを通しての社会人支援活動（定款5条2項（イ）セミナー、ワークショップの開催）

一般社会人の方の中で「演劇を学び、体験して人生に役立てたい。」という方は多く、私たちは、そういう方々を対象に演劇クラスを設け、本格的な演劇を体験してもらえるよう実施しました（講師：菅沢晃）。



『B・アルバの家』発表会より

### 3) その他の一般セミナーや講師の派遣（定款5条2項(ウ)演劇文化普及及び教育の為の講師派遣）

当年度は東京藝術大学・演奏藝術センター企画による東京藝術大学での学生を対象にしたレオニード・アニシモフの特別講座（テーマ「インスピレーションへの道」）を始め、様々な専門家や社会人を対象としたセミナーに講師を派遣しました。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇芸術に関わる人材育成支援事業	【演劇芸術に関わる教育機関の運営】 ＜「東京スタニスラフスキー・インターナショナル・アカデミー」＞ ロシア演劇大学でのカリキュラムを元にした10ヶ月のアカデミーを運営し、次代を担う専門的な芸術家の育成を行った(第2期生)。	平成26年9月8日 ～ 平成27年7月1日	東京ノーヴイ・レパール トリーシアター (東京都世田谷区)	7人	一般 9人	7,146 (千円)
	【演劇文化普及及び教育の為の講師派遣】 「スタニスラフスキーシステム」を通して、“潜在意識を使った創造活動”にアプローチする為の企業セミナーに講師を派遣。	平成26年 9月23日	TKP カーディガンシ ティアー竹橋カンファ レンスルーム10C 住友商事竹橋ビル 10F (東京都千代田区)	7人	一般 44人	
	【演劇文化普及及び教育の為の講師派遣】 「スタニスラフスキーシステム」を通して、“潜在意識を使った創造活動”にアプローチする為の企業セミナーに講師を派遣。	平成26年 12月13日	目黒青少年プラザ 和室 (東京都目黒区)	7人	一般 6人	
	【セミナー、ワークショップの開催】 ＜社会人演劇クラス＞ 社会人を対象にした演劇クラス(第2スタジオ)を継続開催。当年度は、スペインの詩人で劇作家のG・ロルカの『ベルナルダ・アルバの家』の研究会と発表会が行われた。	通年 発表会;平成27年 5月27日～31日	東京ノーヴイ・レパール トリーシアター (東京都世田谷区)	3人	一般 8人	
	【演劇文化普及及び教育の為の講師派遣】 「スタニスラフスキーシステム」と日本の古武術を通して、“潜在意識を使った創造活動”にアプローチする為の企業セミナーに講師を派遣。	平成27年 4月25～26日	寿パークビル (東京都渋谷区)	5人	一般 41人	
	【演劇文化普及及び教育の為の講師派遣】 シャンソン・カンツォーネ歌手を対象にした「スタニスラフスキーシステム講座」を実施(NPO 法人日本シャンソン・カンツォーネ振興協会主催企画)。内容は、“感情の記憶から導く偽りのない声”をテーマに指導、講義が行われた。	平成27年 6月13日	芸能花伝舎 (東京都新宿区)	5人	専門歌手 30人	
	【演劇文化普及及び教育の為の講師派遣】 東京藝術大学・演奏藝術センター企画により、同大学の学生を対象に、芸術監督レオニード・アニシモフによる特別講座を実施。講義は「インスピレーションへの道」をテーマに行われた。	平成27年 6月19日	東京藝術大学 音楽学部5-401	2人	東京藝術大学 学生、他 30人	

### ＜演劇芸術に関する情報発信事業（定款5条-3）＞

「スタニスラフスキー用語100語辞典（仮題）」等、演劇理論・美学に関する文献の翻訳出版活動

（定款5条3項(イ)文献の翻訳等）

演劇芸術理論としての「スタニスラフスキー・システム」は、潜在意識へのアプローチを通じた卓越した創造方法であり、同時に、優れた人材育成方法として、現在、世界中に認知され、研究されていますが、残念ながら日本においては評価、研究とも未だ充分ではありません。私たちは現在、「スタニスラフスキー・システム」を理解する為の基本文献について、その幾つかを出版する為の翻訳作業を進めています。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇芸術に関する情報発信事業	【文献の翻訳等】 スタニスラフスキー・システムに関する研究に貢献する為、現在、ロシアの演劇文献(2点)の翻訳を進めている。	通年	東京ノーヴイ・レパートリーシアター (東京都世田谷区)	3人	不特定多数	0 (千円)

### <演劇芸術を通しての国際文化交流事業(定款5条-4)>

市民レベルでの国際間文化交流は、現代社会において最も重要な仕事になってきています。国ごとに異なる文化、歴史背景の違いを乗り越えて、国際間で手をつなぐというのは実は簡単なことではありません。それぞれの国が持つ互いの素晴らしい文化を見つけ、互いに共有することが重要になってきていると考えています。



討論会「奇人変人倶楽部」より

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇芸術を通しての国際文化交流事業	【世界各国の文化芸術団体との国際交流】 ロシアから“沿海州対日友好協会”のメンバーが来日した際、能楽堂で「古事記～天と地といのちの架け橋」の上演および、能の体験ワークショップを行い、国際親善活動を行った。	平成26年 11月7日	梅若能楽学院会館 (東京都中野区)	40人	ロシア友好協会 会員 30人	109 (千円)
	国内外の文化人を招いての討論会。当年度は、日本の古典を代表する“源氏物語”を通して、「日本の文化の謎」をテーマにして話し合ってもらった。	平成27年 1月30日	東京ノーヴイ・レパートリーシアター (世田谷区)	40人	国内・海外の 文化人等 29人	

### <演劇芸術を通しての地域文化支援事業(定款5条-5)>

#### 1)「町田市でのボランティア学校支援活動」

「町田市立小中一貫校ゆくのき学園」は、平成24年の合併で出来た、町田市で初めての小中一貫校ですが、小学生と中学生が同じ校舎で過ごすことで自由な校風が生まれています。私たちは、この学校の先生方をサポートしての学校支援活動を行っています。当年度の「ボランティア学校支援活動」に対して、町田市教育委員会より感謝状を戴きました。(主任講師：菅沢晃)。



学園での事前ミーティング

#### 2)「長野県高校演劇講座」への講師派遣

昨年度実施して好評であった「長野県演劇講座」(主な受講者；高校生)に当年度も講師を派遣しました(主任講師：菅沢晃)。昨年度の受講者より「発声」「腹式呼吸」について学びたいという声が多かった為、当年度は、ロシアの演劇大学で教えられている発声法を中心とした内容を体験してもらったほか、家や学校で使えるように、発声法についてのパンフレットを作成し、受講者の子たちに無料配布しました。



長野県演劇講座

#### 3) 地元での児童対象の公演活動(保育園公演、Xmas公演)

「地元の子供たちに宮沢賢治の童話を届けたい」という声を受け、地元の保育園で「鹿踊りのはじまり」を見てもらいました。

また毎年恒例となった、地元の子供たちを招いてのXmasチャリティ公演では、宮沢賢治の「鹿踊り」をアレンジした新作のクリスマス童話を披露しました。



保育園公演



Xmasチャリティ公演



事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇芸術を通しての地域文化支援事業	<町田市学校支援活動> 学校での継続的な演劇ワークショップを行い、授業の中だけでは難しいような「子供たちの人間関係・想像力等の問題」解決にむけて支援活動を行った。	平成 26 年 9 月～12 月 (3 回)	町田市立小中一貫 校ゆくのき学園 (東京都町田市)	4 人	中学生 74 人 (のべ)	113 (千円)
	<長野県演劇講習会> 高校生を対象とした長野県の演劇講座に講師を派遣。当年度は“自由な発声法”をテーマに実施した。	平成 27 年 5 月 10 日	ホクト文化ホール (長野県長野市)	4 人	県内の演劇部 高校生、他 110 人	
	<保育園公演 宮沢賢治作「鹿踊りのはじまり」> 地元世田谷の保育園で宮沢賢治作「鹿踊りのはじまり」を園児たちに披露した。	平成 26 年 11 月 19 日	梅ヶ丘保育園 (東京都世田谷区)	10 人	保育園児 81 人	
	<Xmas チャリティー公演> 地元の子供たちを対象に Xmas チャリティー公演を実施。当年度は、オリジナルの新作童話「鹿のクリスマス」を披露した	平成 26 年 12 月 19 日	東京ノーヴイ・レパ ートリーシアター (東京都世田谷区)	20 人	親子等 30 人	

<演劇芸術に関わるネットワーク構築事業（定款 5 条-6）>

当年度、実施せず。

<その他、目的を達成するために必要な事業（定款 5 条-7）>

当年度、実施せず。